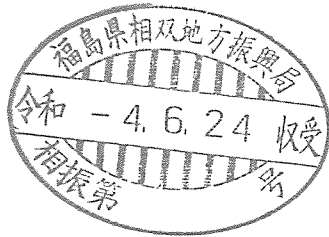


産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 24日

福島県知事 内堀 雅雄 殿



提出者 (株)メイコー FBセンター

住所 福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-2

氏名 工場長 松本光二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0240-27-3970

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 メイコー FBセンター (福島工場)
事業場の所在地	福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-2
計画期間	令和4年度

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	電気機械器具製造業
② 事業の規模	481,600万円
③ 従業員数	140名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り (別紙A-1~2 参照)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り (別紙A 3 参照)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り (別紙A 4 参照)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り (別紙A 4 参照)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り (別紙A 4 参照)		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り (別紙A 4 参照)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

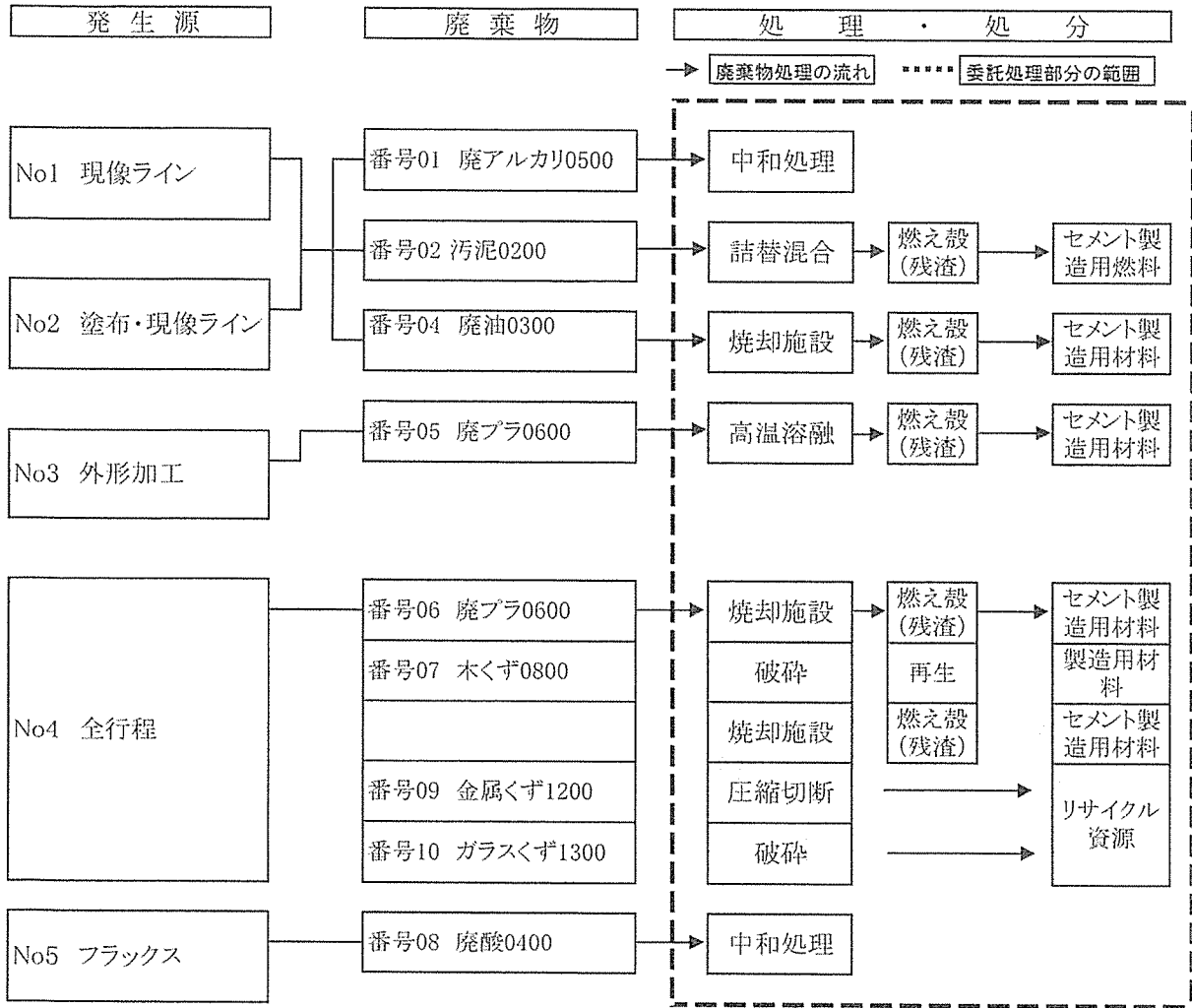
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

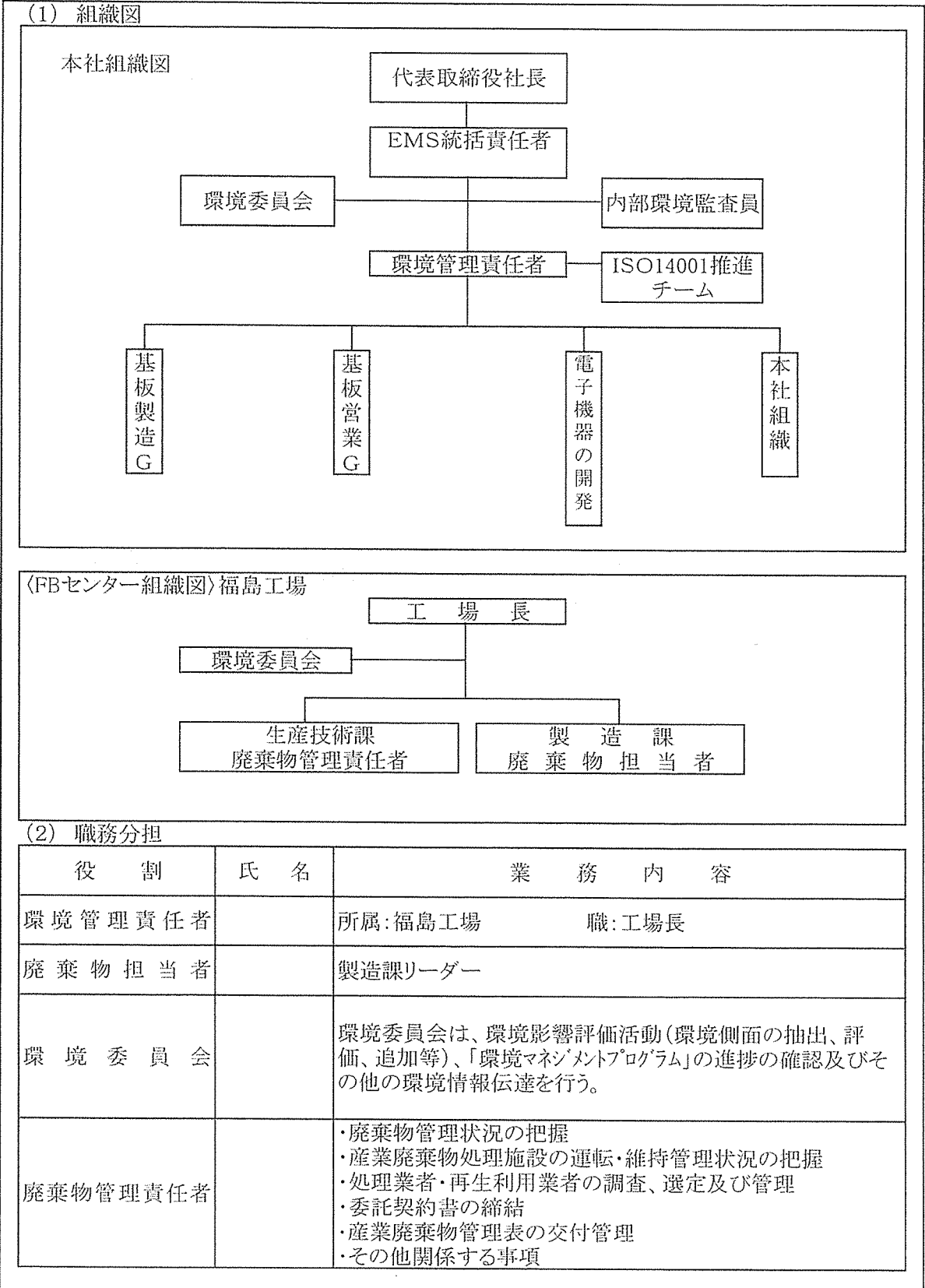
1、製造工程・産業廃棄物の発生行程フローシート

製造工程	産業廃棄物種類	廃棄物名
No1 現像ライン	番号01 廃アルカリ0500 番号02 汚泥0200	現像廃液 ドライフィルムカス
↓		
No2 塗布・現像ライン	番号01 廃アルカリ0500 番号04 廃油0300	現像廃液 シンナー付ウエス
↓		
No3 外形加工	番号05 廃プラ0600	基板くず・紙ベーク他
↓		
No4 全工程	番号06 廃プラ0600 番号07 木くず0800 番号09 金属くず1200 番号10 ガラスくず1300	混合プラチック (梱包材等) 廃棄パレット(木材) 廃棄設備他 ガラスくず
No5 フラックス	番号08 廃酸0400	酢酸

2、廃棄物処理フロー図



管理体制図



第二号の八 第2面 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙A-4

		産業廃棄物の種類									
		番号01 廃アルカリ0500	番号02 汚泥 0200	番号04 廃油 0300	番号05 廃プラ 0600	番号06 廃プラ 0600	番号07 木くず 0800	番号08 廃酸 0400	番号09 金属くず1200	番号10 ガラスくず1300	
① 現状	前年度実績 (R3年度)	排出量	2,361.4 t	75.0 t	23.2t	94.9t	17.74t	23.7t	0t	9.6t	0t
	廃棄物名	現像廃液	ドライフィルムカス	シンナー付ウエス	基板くず 紙ベーク板	混合プラスチック	木くず (廃パレット)	酢酸	金属くず (廃酸等)	ガラスくず	
	これまで実施した取り組み	・現像新液供給量の見直しによる廃液排出量の減量化 ・ドライフィルムカスの脱水処理による減量化 ・基板くず分別有価物金属化による産廃物の減量化 ・ゴミ分別回収による産廃物の減量化									
② 計画	計画 (令和4年度)	排出量	2242.9t	71.2t	22.0t	90.2t	16.8t	22.5t	0.7t	9.1t	0t
	今後実施する予定の取り組み	・現像新液供給量の見直しによる廃液排出量の減量化の継続実施 ・ドライフィルムカスの脱水処理による減量化継続実施 ・基板くず分別有価物金属化による産廃物の減量化継続実施 ・ゴミ分別回収による産廃物の減量化継続実施									

第二号の八 第4面 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		産業廃棄物の種類									
		番号01 廃アルカリ0500	番号02 汚泥 0200	番号04 廃油 0300	番号05 廃プラ 0600	番号06 廃プラ 0600	番号07 木くず 0800	番号08 廃酸 0400	番号09 金属くず1200	番号10 ガラスくず1300	
① 現状	前年度実績 (R3年度)	全処理委託量	2,361.4 t	75.0 t	23.2t	94.9t	17.74t	23.7t	0t	9.6t	0t
		優良認定処理業者への処理委託量	2,361.4 t	75.0 t	23.2t	94.9t	17.74t	23.7t	0t	9.6t	0t
② 計画	目標	全処理委託量	2242.9t	71.2t	22.0t	90.2t	16.8t	22.5t	0.7t	9.1t	0t
		優良認定処理業者への処理委託量	2242.9t	71.2t	22.0t	90.2t	16.8t	22.5t	0.7t	9.1t	0t